

平成24年度第13回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成25年3月13日（水）13時00分～14時45分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
事務局長	益田 和弘
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携センター長	松添 直隆
学術情報リサーチセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本県公立高等学校長会会長	森塚 利徳
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子
欠 席：副学長	半藤 英明

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報リサーチセンター事務長、前田地域連携センター事務長、教務入試課阿蘇品班長

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成25年度年度計画（案）について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、平成25年度年度計画（案）のうち、大学の教育研究に関する年度計画案の主な項目について説明があった。

審議の結果、一部について検討、見直しを行ったうえで、経営会議、理事会で審議することが承認された。

② 教員採用に係る枠取りについて

事務局総務課から、「今回の枠取りについて、全体を説明する。文学部の社会言語学・方言学を専門分野とする准教授もしくは講師1名の枠取りである。枠取りの理由は退職教員の補充であり、平成26年4月1日の採用を予定している。続いて、文学部の韓国語・異文化コミュニケーション論を専門分野とする准教授もしくは講師1名の枠取りである。枠取りの理由は退職教員の補充であり、平成26年4月1

日の採用を予定している。環境共生学部の建築設計及び住空間計画学を専門分野とする教授、准教授または講師 1 名の枠取りである。枠取りの理由は退職教員の補充であり、平成 26 年 4 月 1 日の採用を予定している。」との説明があった。

1) 社会言語学・方言学

文学部長から、資料 2-1 に基づき、「日本語日本文学科においては、各教員が各々の専門分野の研究教育活動に関連させつつ、その成果を現代社会の中で展開していく各種の方策を実践してきた。採用することによって、九州・熊本をフィールドとした言語変化の動態を明らかにしていくことも可能となる。カリキュラム構成の面はもとより、教育研究活動の地域社会への発信という面からも、後任の採用をお願いするものである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 韓国語・異文化コミュニケーション論

文学部長から、資料 2-2 に基づき、「教育・国際交流両面に互る状況を鑑みるに、従来非常勤講師に任せていた韓国語を専任教員担当とし、韓国語教育と、日本語教育実習の事前事後指導を含む国際交流に参加する人員を採用することで、現在日本語教育担当教員 1 名が中心となって進めている祥明大と国際交流を、より充実安定したものにする事ができる。同時に、学生のコミュニケーション力の不足と、外国語学習の動機付けが問題とされている現状の打開策の一つともなると考えており、後任の採用をお願いするものである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 建築設計及び住空間計画学

環境共生学部長から、資料 2-3 に基づき、「この分野の重要性から、演習体系全体を統括するとともに、高度な設計能力をもち、その技術を学生に伝える熱意がある教員を配置する必要がある。また、居住環境を考える上では、居住空間を対象とした設計演習や、『住空間計画学』『住文化論』等の講義が必要であると同時に、これらの演習・講義は、建築士の受験資格取得カリキュラムにおける基幹的な科目であり、後任の採用をお願いするものである。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員の採用について

事務局総務課から、資料 3-1 に基づき、環境共生学部の食健康科学の教員採用について、これまでの審査の経緯等について説明があった。

続いて、環境共生学部長から、資料 3-2 に基づき、「食健康科学の教員採用について、枠取りの承認後、公募を行い、人事選考委員会及び人事教授会での審議結果に基づき、候補者 1 人を選定した。平成 25 年 4 月 1 日付けで採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 特任准教授の採用について

事務局地域連携センター事務長から、資料4-1、4-2に基づき、「食育推進プロジェクトのリーダーで、同プロジェクトの一層の推進を図るとともに、プロジェクト関係の業務及び本学食育・健康プロジェクト推進委員会の委員を担当する地域連携センター食育推進プロジェクトの管理監督を行う者として、地域連携センター長から推薦のあった准教授について、平成25年4月1日より、地域連携・研究推進センタープロジェクト室で採用したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 平成25年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、平成25年度非常勤講師採用について、第11回教育研究会議（平成24年2月18日開催）時点で未定だった採用者案の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ 環境共生学部居住環境学科長の選考について

事務局総務課から、資料6に基づき、「現在の環境共生学部居住環境学科長の健康上の理由による辞任に伴い、本学学科長選考規定に基づき、前任者の残任期間である平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間、選考案の居住環境学科教授について審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑦ 平成25年度入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針（案）について

事務局教務入試課から、資料7に基づき、「平成25年度入学者選抜のうち、大学院秋季入学試験の実施について、環境共生学研究科・アドミニストレーション研究科の博士後期課程において、『一般選抜』『社会人特別選抜』『外国人留学生特別選抜』で募集人員を若干名とする。また選抜日程について、環境共生学研究科においては、出願資格審査を6月3日から7日まで、出願期間を8月5日から9日まで、選抜期日を8月31日、合格発表を9月9日、入学手続期間を9月17日から20日まで。アドミニストレーション研究科においては、出願資格審査を6月3日から7日まで、出願期間を6月24日から28日まで、選抜期日を7月13日、合格発表を7月22日、入学手続期間を8月5日から9日までとしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑧ スチューデント・アシスタント制度について

事務局教務入試課から、資料8に基づき、「平成24年度年度計画において『授業の双方向性を推進するために、語学科目や情報科目など少人数教育に適した授業へのスチューデント・アシスタントの配置に向けて制度導入の準備を行う。』となって

おり、教務委員会において検討を行った。その結果、3年次以上の学部学生で、実施科目を優秀な成績で修めた者の中から、当該授業科目の担当教員の申請に基づき、学科長（コース長）及び学部長が推薦する者を、授業の双方向性を高めるため、優秀な学部学生を下級生に対する教育の補助者として活用することとし、平成25年度試行のうえ、平成26年度から導入したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑨ 学長選考会議委員の選出について

事務局企画調整室から、資料9に基づき、「学長の選考等を審議する学長選考会議の委員が欠員となっている。現学長の任期が平成25年度末となっており、次期学長を平成25年12月末までに選考する必要がある。」との説明があった。続いて、事務局長より「前回委員選出にあたっての考え方にあてはめて、教育研究会議の委員から、学外者として平野委員、学内者として、学科長である北原委員、学部長である山田委員が適任であると考え。」との意見があった。

審議の結果、意見のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成25年度熊本県立大学キャンパス見学会の開催について

事務局学生支援課から、資料10に基づき、「平成25年4月6日に入学式に出席する保護者を対象として、本学の教育への理解と協力をいただくための説明会として『キャンパス見学会』を開催する。」との報告があった。

② 教育戦略会議（仮称）の設置について

古賀学長から、資料11に基づき、「本学での様々な取組については、関係する委員会や学長指示により設置されたプロジェクトにおいて検討、実施されているが、教育に係る事項で相互に関連があるにもかかわらず、検討・取組内容について相互の共有、連携が十分にとれているとは言い難い状況にある。そこで、平成25年4月1日から、教育に係る諸委員会、プロジェクトの上部会議として、学長を中心とした『教育戦略会議（仮称）』を設置し、教育に関する全学的な方針を企画・審議、調整を行うこととした。」との報告があった。

4 その他

次回日程 第14回 平成25年3月21日（木）午前11時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会